

報道機関各位

地域日本語教育スタートアッププログラム事業について

地域日本語教育スタートアッププログラム事業に箕輪町が採択されました。
箕輪町は外国人住民が他市町村に比べて多く、外国人住民からの相談件数も増大しておりますが、その相談の多くは日本語が理解できないことに起因しています。
本事業は、3年間かけて安定的で継続的な日本語教室を立ち上げるためのものです。

詳細については別紙を御参照ください。

添付資料 有 無**じゃらんnet**

「全国のおすすめ紅葉スポットランキング2021」でもみじ湖が2年連続**全国1位**に選ばれました！！

総務課 総務係
(課長) 毛利 岳夫 (担当) 笠原 ゆみ子
電話：0265-79-3144 (内線) 1102
FAX：0265-79-0230
E-mail：soumu@town.minowa.lg.jp

文化庁による補助事業



令和 4 年度
「生活者としての外国人のための日本語教室空白地域解消推進事業」

地域日本語教育スタートアッププログラム事業に 箕輪町が採択されました！

1 目的

外国人を対象とした日本語教室が開設されていない地域に対し、専門家から日本語教室の設置に向けた支援を受けることにより、日本語学習環境が整備され、日本語教育の推進が図られることを目的とします。

2 計画期間

3年間。3年後には自立した日本語教室を安定的に運営できるよう準備する。

3 現状と課題

- (1) 箕輪町は外国人住民が他市町村に比べて多い。
- (2) 長期的に定住（永住）している人が多い。
- (3) 現在運営している「箕輪町日本語教室」はボランティアによる団体。
資料の作成等メンバーの持ち出しで実施。メンバーの高齢化が進んでいる。
学習者は減少。現在はコロナ感染拡大により3年間開催中止となっている。
- (4) 毎週木曜日に町多文化共生推進員による日本語教室を開催しているが、相談業務の増加・複雑化により相談業務に係る時間が増。教室の運営が負担となっている。
- (5) 町に寄せられる相談のほとんどが日本語が理解できないことに起因している。

4 目標

- (1) 専門性を持ったスタッフが継続的に日本語教室を運営していくことが出来る。
- (2) 「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り生活できるようになる。
- (3) 次世代多文化をコーディネートしていく人材の育成。

誰もが自分らしく生活できる箕輪町を目指します！

